

【第二十六回】(通算)

《世界の日本語学習者『日本語作文コンクール』》

『大森和夫・弘子(国際交流研究所)主催』の最後の《世界の日本語学習者『日本語作文コンクール』》を開催致します。1989年(平成元年)から34年間に、《留学生》・《中国の大学生》・《世界の日本語学習者》を対象に通算25回開催。応募者総数は5万1,099人。★2024年(令和6年)からは、笈川幸司氏(福島県広野町在住。広野未来スピーチ倶楽部部長。日本語教師)が主催し、新しい形式で開催されます。

一・【応募資格】＝日本語を学習・研究している「外国籍の人」は、誰でも応募出来ます。

二・【テーマ】＝次の中から、選んでください。(二つの【テーマ】に応募することも出来ます)。

【一】・『日本語』と私

(日本語を学ぶことになったきっかけ。日本語学習の難しさ、楽しさ。日本語を将来どのように活用し、役立てたいか。好きな「日本語・ことわざ」。など、「日本語」に関することなら何でも)

【二】・「あなたの国にとって、『日本』は、どんな国ですか？」

(あなたの国と『日本』はどんな関係ですか？ あなたの国は、『日本』に何を期待しますか?)

参考資料 電子書籍「日本語教材『【日本】という国』」(HP: <http://www.nihonwosiru.jp/>)

三・【字数】＝本文だけで「800字以上1,500字以内」

四・【応募方法】＝メール添付のみ yuraumi@yahoo.co.jp (国際交流研究所) へ

応募作文には、「国籍、氏名、年齢、性別、学校名か職業、連絡先・メールアドレス」を明記。

(個人でも、大学・日本語学校・日本語教室などがまとめて「ファイル」でも、応募出来ます)

五・【応募期間】＝2022年(令和4年)12月～2023年(令和5年)4月30日(日)必着

六・【賞】☆一等賞＝2人(賞状+「日本招待一週間」、あるいは、賞金・20万円＝各テーマ1人)

☆二等賞＝5人(賞状+賞金・10万円)

☆三等賞＝20人(賞状+賞金・3万円)

☆努力賞＝40人(賞状+賞金・1万円) 《表彰式は未定。「入賞作文集」を出版予定》

七・【審査員】【一次審査】大森和夫・大森弘子(「入賞候補・約100編」を選びます)。

【二次審査】笈川幸司(広野未来スピーチ倶楽部部長。日本語教師)。大森和夫・大森弘子。

羽原清雅(元・朝日新聞政治部長)。古谷浩一(朝日新聞論説委員)。

八・【入賞者発表】2023年(令和5年)7月。HP(国際交流研究所) <http://www.nihonwosiru.jp/> で。

主催＝大森和夫・大森弘子(190-0031 東京都立川市砂川町2-71-1-C621)。

(国際交流研究所所長・編集長)

事務局＝福島県・広野未来スピーチ倶楽部(部長・笈川幸司)。

後援＝国際交流基金。国際協力機構。朝日新聞社。

協賛＝(株)スリーエネットワーク。